# 湘南地域

企業規模：中小企業／業種：サービス業／地域：藤沢地域

# 38. FujisawaBluehandsProject(ﾌｼﾞｻﾜﾌﾞﾙｰﾊﾝｽﾞﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)（藤沢市資源循環協同組合）

## 取組の概要

FujisawaBluehandsProjectとは藍染め(手も青く染まります)を通じて藤沢の独自ブランドを創出し、雇用創出や地域活性化を図ります。藤沢市内業者で衣類等のデザイン及び提供を(有)ラファイエットが行い、(株)アートモリヤの指導のもと、染色作業と場所の提供を藤沢市資源循環協同組合が行います。市内事業者が染色された衣類を制服として使用し、藤沢市がこの取組についての広報及び周知を行います。

## 取組を始めた動機・課題

藤沢市とラファイエットがもともと取り組んでいるFUJISA CITY LOVE PROJECTに賛同し、古い衣類等を藍染めし、リユースすることでごみの減量化につなげ、染手を障がい者に担ってもらうことで、雇用創出を図り、染色した衣類等については、市内企業の制服として提供し、将来的に一般向けの販売を行い、藤沢市のシティプロモーション活動に寄与します。

## 解決に向けた具体策と成果

【プロジェクトに参加する事で】

（障がい者雇用）染手を障がい者に担ってもらうことで、雇用の創出を図ります

（伝統工芸）藍染の文化の継承につながります

（環境配慮）古い衣類等を藍染し、リユースすることでごみの減量化につなげます

該当するSDGs目標
（３つまで）

企業規模：中小企業／業種：サービス業／地域：藤沢地域

# 39. 業務電子化によりペーパーレスと業務効率化（藤沢市資源循環協同組合）

## 取組の概要

IoTを駆使したシステム（BIOISM社）を導入することにより、業務効率化を図る。回収車両に搭載したタブレットと事務所パソコンの連携により回収状況や現在地を事務所でリアルタイムに知ることができ、ルート通りに回収しているか等を確認し、フォローすることができるため、取りこぼし等のリスクを下げることができます。

## 取組を始めた動機・課題

昨今、回収従事者が病欠（新型コロナウイルス等）で欠員した場合、常時回収作業にあたっている者が休まざるを得ない状態となり、回収業務においてはコースを覚えている者が休んでしまうと収集自体が困難になる事を避けるため、IoTを駆使したシステムを導入する事により回収エリアや回収ルートを登録し、タブレットに表示しコースを覚えていない人でも収集することでき、事務所でも情報共有できかつBCP対策にもなる。

## 解決に向けた具体策と成果

【スマートな業務対応の実現】

回収状況がリアルタイムで更新、一目で情報共有が可能となる。また、回収従事者のタイミングで情報を取得でき、回収対応が可能となる。

該当するSDGs目標
（３つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 40. 独自のサスティナビリティ取り組みプランの実行（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

自社グループでのSGDsに貢献する活動を「スマイルアクション」と名付けて項目を設定し、各拠点単位で実行を開始した。

## 取組を始めた動機・課題

従来から省エネ、地域活動は行ってきたが、部署・拠点単位での一過性の取り組みが多く、取組みの内容も共有されていなかった。

## 解決に向けた具体策と成果

業務における省エネ、省資源、エコ活動を全社的な活動とする事で社内浸透を図ると共に、スケール感により企業イメージの向上の訴求効果を高めることが出来た。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 41. 自社施設周辺のクリーン活動（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

茅ケ崎、藤沢、鎌倉のグループ各拠点において、業務時間中に従業員による周辺の清掃活動を実施している。

## 取組を始めた動機・課題

これまで茅ケ崎の海岸エリアの清掃を行ってきたが、所属するエリアや業務の都合等で参加者が限られていた為、参加しやすいフレームを構築したいと考えた。

## 解決に向けた具体策と成果

拠点ごとに独自に計画を策定して実行する形とした。実施の際は制服を着用、SNSで発信する事で活動を周知しており、地域住民とのコミュニケーション促進に寄与している。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 42. 市民皆泳で水の事故防止に貢献（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

水泳の啓発と水難事故防止の観点から市営プールを利用して、水が苦手な子どもを対象にした水泳教室と親子で参加する着衣泳教室を開催した。

## 取組を始めた動機・課題

コロナ禍で小中学校での水泳授業の中止が続いており、子ども達が水と親しむ機会が減ってしまった。

土地柄、海や水辺での水難事故の懸念もあり、安全に楽しむための啓発が必要との認識があった。

## 解決に向けた具体策と成果

水が苦手・泳げないといった子ども達に水と触れ合うきっかけを作ることが出来た。

着衣泳教室では、命を守るための備えを親子で学ぶ機会を提供した。いずれも参加無料とし、150名超の市民が参加した。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 43. 中学生の職場体験で次世代人材の育成に貢献（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

地域の中学校生徒の職場体験の受け入れに協力し、未来を担う子供たちの勤労観・職業観の育成に貢献した。

## 取組を始めた動機・課題

コロナ禍を経て3年ぶりに地域の公立中学校から要望があった。生徒が将来の仕事のイメージや興味のある分野への知識、理解を深める機会であり、地元企業として積極的に協力したいと考えていた。

## 解決に向けた具体策と成果

今年度は定員を超える参加希望があり、7校15名を受け入れた。参加者からは、体験後の報告や手紙で中学生らしいあたたかい感想・メッセージが寄せられた。また、社内の活性化や会社のイメージアップ、子どもの意識の把握等様々なメリットがあった。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 44. 紙の運用改善、デジタル化でペーパーレスを実現（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

紙取り扱いのルール改善、デジタルツールの導入など様々な取り組みで紙の使用量削減に取り組んだ。

## 取組を始めた動機・課題

大量に発生する申請書、文書等の取り扱いに伴う保管、廃棄が問題になっていた。また、紙からデータへの入力ミスなどが起きていた。コロナ禍における社内インフラのデジタル化推進も追い風となり、文書削減に取り組む事となった。

## 解決に向けた具体策と成果

プールでのWi-Fi環境を整備し、タブレット端末でのデータ入力に移行した。印刷方法と枚数の徹底した管理工夫、社内啓発で紙の量を抑えコストを削減した。入力工数とミスの削減、ワークフローシステム導入、ミーティングや顧客向けの説明会等をオンライン化、帳票類と文書管理の電子化を実現した。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 45. ハンカチ持参の呼びかけで紙タオルの削減を実現（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

スクール生に、手洗い用ハンカチの持参を呼びかける事で、ペーパータオルの利用を大幅に削減できた。また経費の削減にもつながった。

## 取組を始めた動機・課題

教室への入室時、おやつ前、トイレ時に手洗いをするルールとしており、施設側で用意したペーパータオルを大量に消費する事が課題になっていた。

## 解決に向けた具体策と成果

保護者へハンカチの持参を促し、ハンカチを忘れた子のみが使用するまでになったことで、ペーパータオル使用量は3分の1程度、1日につき生徒60名で延べ180回分ほどの削減効果となった。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 46. 空調システム入替えと電灯LED化でCO2削減を実現（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

プールおよび体育館の空調設備を省エネタイプの最新機器に入れ替えた。また、既設照明器具のLED化した。

## 取組を始めた動機・課題

設備の経年劣化、汚れ等による能力低下で、空調の効き、照明の照度が悪くなり、快適性、安全性が損なわれていた。また消費電力の効率が悪く、電気使用量とコストの負担が問題になっていた。

## 解決に向けた具体策と成果

最新の施設暖房システムへの入れ替えよび照明のLED化により消費電力が約1/6となり、光熱費およびCO2削減を実現した。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 47. 遊休農地を活用した野菜作りで地域に貢献（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

茅ケ崎市内の遊休農地を利用して、社員自ら野菜作りに取り組んでいる。収穫した野菜はスポーツ施設を利用するお客様に提供している。

## 取組を始めた動機・課題

地域に点在する遊休農地の活用して、施設に通う子ども達の農業体験の機会の創出と作った野菜を地域の方々に提供する事で企業価値向上を図りたいと考えた。

## 解決に向けた具体策と成果

年間を通して季節の野菜作りを行っており、収穫した野菜は利用者へ安価で販売し、好評を頂いている。また野菜は社員への賄いとしても利用している。

収穫イベントを実施し、親子での農業体験と食育にもつなげることが出来た。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 48. 茅ヶ崎市と災害時応援協定を締結（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

地元茅ヶ崎市と災害時応援協定を締結し、被災者の被災生活の負担等を少しでも軽減できる環境を整備した。

## 取組を始めた動機・課題

市と災害時応援協定を締結して35年が経過し、時代に即した内容に改める必要性を感じていた。

茅ヶ崎市記者発表資料
2021年12月22日
市民安全部防災対策課　課長　吉井　治樹
電話0467（82）1111内線1469

株式会社林水泳教室・株式会社バルバル湘南スポーツクラブと
災害時における生活用水の提供等に関する災害協定を締結

市は12月22日に、市内で水泳教室等を運営するハヤシグループの株式会社林水泳教室および株式会社バルバル湘南スポーツクラブと、「災害時における応援の協力に関する協定」を締結しました。本協定によって被災者への生活用水の供給など、被災者の被災生活の負担軽減が図られます。

1　協定締結に係る経緯

市と株式会社林水泳教室は、1987年6月1日に「災害時における飲料水の調達に関する協定」を締結しました。この協定は、当社が活動された令和元年房総半島台風（台風第15号）の被災地での支援を踏まえ、災害時により貢献したいとのご要望をいただき、時代に即した協定内容へ改めることとなりました。同グループの株式会社バルバル湘南スポーツクラブも、同様の協定を締結します。

2　協定の詳細

（1）名　　称　「災害時における応援の協力に関する協定」
（2）締 結 先　株式会社林水泳教室（茅ヶ崎12－1）
　　株式会社バルバル湘南スポーツクラブ（本村1－4－20）
（3）締 結 日　2021年12月22日
（4）主な内容　・生活用水の提供
　　・救護手段の提供
　　・入浴施設等の提供

3　市長コメント

この度は、大変有意義な協定が締結できたことに感謝申し上げます。
災害時の生活用水の確保等は重要な課題であり、今回の協定締結により、被災者の被災生活の負担等を少しでも軽減できる環境を整備できたと考えております。これからも多くの皆様のご協力のもと、市民の安全・安心のため取り組んでまいります。

## 解決に向けた具体策と成果

2019年に他県へ被災地支援に赴いた活動を踏まえ、市と支援内容を協議し、系列施設を加えて再締結した。締結を機に設備・マニュアル等の整備を行い、危機管理体制を見直す機会になった。また社員の防災意識が高まり、救命救急の資格取得にもつながった。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 49. 安心安全な学童送迎で子育て世代の就労を支援（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

子どもの予定に合わせた細やかな運行計画の策定と保護者への事前連絡で、送迎時のトラブルを解消した。

## 取組を始めた動機・課題

バスの乗り遅れや場所の間違えなど乗降時のトラブル発生時に保護者と連絡が取れず、適切な対応が出来ない状況の改善が問題になっていた。

## 解決に向けた具体策と成果

各学校の予定をリサーチして予定表を作成し、保護者へeメールで個別に送迎時間と場所を知らせる方式にした。スタッフ間の運行チェック体制を強化し、安全な運行に加え安心とホスピタリティをサービスの付加価値として提供可能となった。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 50. 学童のアクティビティーをSDGsで楽しく学ぶ（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

学童のイベントアクティビティーに芋ほり、海ゴミアート制作などを取り入れる事で、子ども達がSDGsをわかりやすく身近に感じられるようした。

## 取組を始めた動機・課題

子ども達へSDGsを説明しても、座学ではなかなか理解が進まず課題となっていた。小さい子どもでもSDGsを身近に感じられるよう、保育プログラムに組み込んでみたいと考えた。

## 解決に向けた具体策と成果

芋ほりでは食育に加え、地産地消で移動が少ない事でのCo2削減や、海ゴミからアートへの変化など、身近な事からSDGsを考え参加できることが伝えられた。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 51. 外国人教師による子どもへの不適切な対応の解消（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

外国人教師への研修・ミーティングにより、子どもへのハラスメント・虐待など不適切と誤認されるケースの解消に取り組んだ。

## 取組を始めた動機・課題

先生自身は躾と思っていても、子どもの感じ方によっては言葉遣いや、態度がハラスメントや虐待と取られかねない事案が起きており問題になっていた。

## 解決に向けた具体策と成果

外国人教師へハラスメント・虐待に関する教育研修を強化し、子どもへの対応の改善を図った。また、普段の子どもの様子や日常会話から、各家庭内での虐待等の問題を発見する事へも注意を払っている。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）

**企業規模**：中小企業／**業種**：サービス業-一般サービス／**地域**：湘南地域

# 52. 給水機の紙コップ廃止で紙使用量を削減（株式会社林水泳教室）

## 取組の概要

フィットネス施設の給水機での使い捨て紙コップの提供を廃止し、マイボトルの持ち込み利用に移行した。

## 取組を始めた動機・課題

利用者向けに設置している給水機で紙コップを提供していたが、使用済み紙コップのゴミ処理が問題になっていた。

## 解決に向けた具体策と成果

紙コップの設置を止め、利用者へはマイボトル、マイカップでの給水をお願いした。ゴミの削減に加え、経費の削減にもつながった。

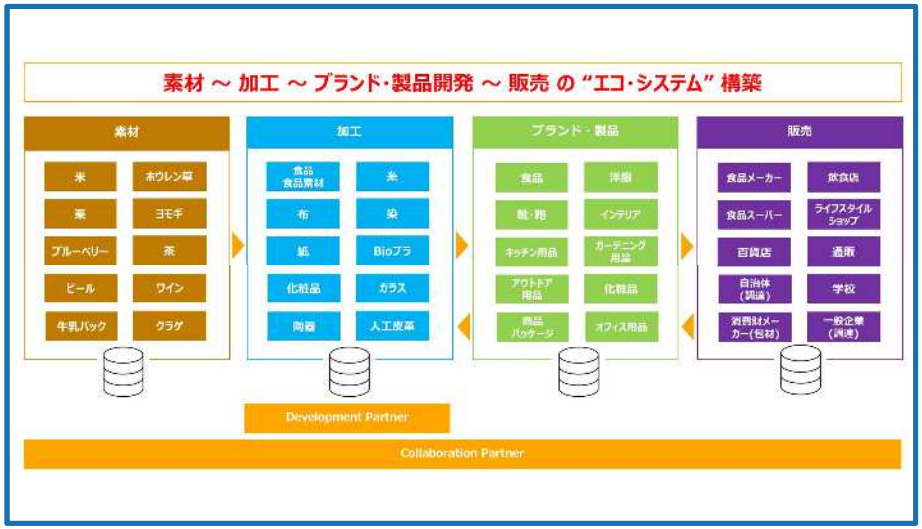
**該当するSDGs目標**
（3つまで）

企業規模：中小企業／業種：その他／地域：湘南地域

# 53. UP FOOD PROJECT 食の問題解決に挑む共創プロジェクト（株式会社コル）

## 取組の概要

未・低利用素材の排出源から販売までつながるエコシステムを構築することで、未・低利用素材のアップサイクルを促進し、フードロス・廃棄物を減らす取り組み。




## 取組を始めた動機・課題

将来的な食料危機が懸念されるなか、570万トンもの食品ロスが発生しており、食品廃棄物全体の41%にあたる1055万トンが焼却・埋立されています。

このような状況を変え、日本の食を持続可能にアップデートするべく取り組みを始めました。

## 解決に向けた具体策と成果

【具体策】パートナー連携による未利用素材の情報収集、加工、商品開発、販路開拓

【成果】サラヤ、キュアテックスと当社による、規格外ビワのアップサイクル商品開発、販売

**該当するSDGs目標**
（３つまで）

**企業規模**：協同組合／**業種**：複合サービス事業／**地域**：（藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・綾瀬市・大和市・鎌倉市・座間市・海老名市）

# 54. POPで拡めるSDGs（さがみ農業協同組合）

## 取組の概要

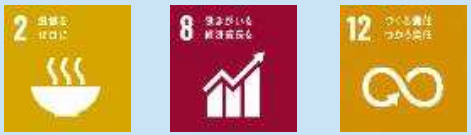
SDGsの取組みについて利用者・役職員に広く周知するため、本店機能を有する2か所の事務所に持続可能な開発目標17項目の紹介および日本の現状と課題やJAグループが取組んでいる事例など記載したPOPを毎月作成し、目に留まりやすい場所（トイレの洗面所等）に掲示しています。

## 取組を始めた動機・課題

近年の報道等により世間でSDGsに対する関心が高まっているなか、他人事ではなく利用者・役職員一人一人が理解を深め、日々の生活で意識していく重要性を感じたため始めました。

課題として、一人一人の行動を促した結果、どの様に行動したかを把握することが困難であること。

## 解決に向けた具体策と成果

POPにより各自の行動を促すだけでなく、JA全体でフードドライブ等に取組み、その成果を示すことで、少しの行動が大きな力になることを、利用者・役職員に呼びかけています。昨年度2回の呼びかけで、8月は133kg（341点）・1～2月には968.1kg（1,464点）の食品を回収しフードバンクかながわに寄贈できました。

**該当するSDGs目標**
（3つまで）